

基礎医学研究用途

トリガイベント CDM 解析ソフトウェア (NoruPro Light Systems)

Trigger Event CDM Analysis

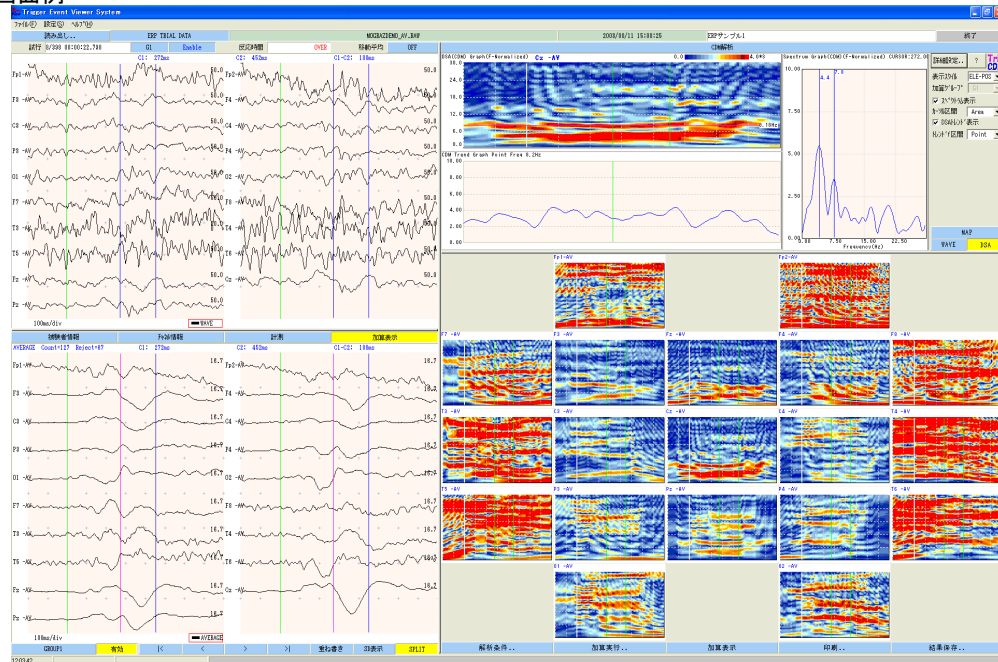


トリガイベントCDM解析プログラム(**Trigger Event CDM Analysis**)は、トリガイベントビューワー(**Trigger Event Viewer**)で読み出した1試行ごとの波形をComplex Demodulation Method(CD法)でDSA(Density Spectrum Array)解析・表示するプログラムです。1試行ごとDSAをグループごとに加算表示や任意周波数区間と時間のマッピング表示が可能です。周波数範囲内の平均値DSAトレンドで経時変化を確認することができます。

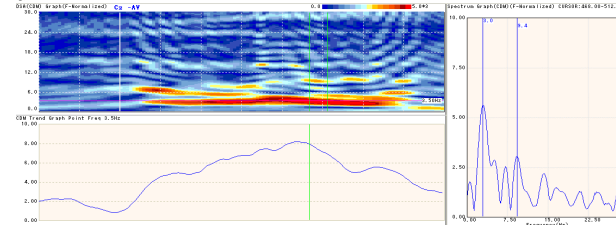
特徴

- トリガイベントビューワー(**Trigger Event Viewer**)に組み込みます。
- Complex Demodulation Method(CD法)でDSA表示します。
- 試行単位の波形データをCD法を拡張して、時間周波数解析を行います。
- 試行波形単位でDSA解析します。範囲内の平均周波数、最大値周波数のラインを表示できます。
- DSA加算が可能です。試行DSAをグループ単位で加算してDSA表示できます。加算DSA同士の差分表示も可能です。
- DSAの任意区間のスペクトラム分布表示が可能です。
- 1チャンネルのDSA内の1点、任意区間のスペクトラム分布を表示します。
- DSAの任意周波数範囲のDSAトレンド表示が可能です。
- 1チャンネルのDSA内の任意周波数範囲の平均振幅トレンド(DSAトレンド)を表示します。
- DSAイメージをクリップ・コピーできます。
- 指定した周波数範囲の平均瞬時振幅値で二次元マップを表示します。
- 絶対値(Absolute)、相対値(Relative)のモードを切り替えて、マップ表示します。
- 短時間の分布変化を動画マップで表示することができます。
- 解析結果レポートを印刷できます。解析結果のグラフレポート印刷することができます。

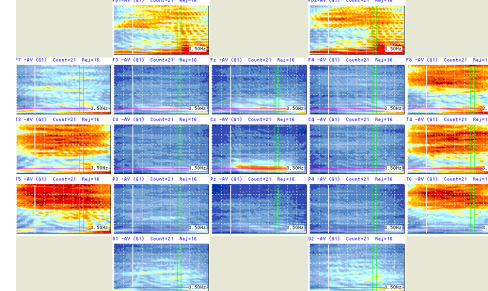
画面例



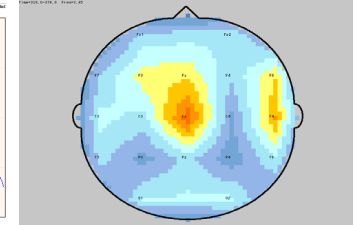
拡大 1 CH



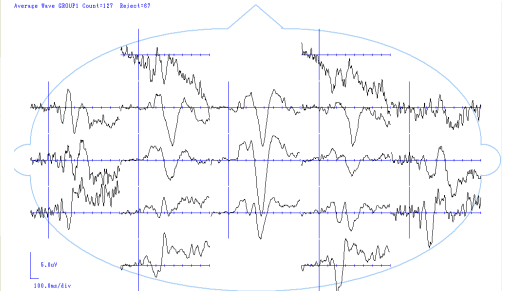
加算 DSA



加算 DSA マップ



加算波形



仕様 P300 ReAverage Analysis

- 解析チャンネル数 最大 1 2 8 チャンネル
 - 周波数解析方式 Complex Demodulation Method (CD 法) 方式 DSA(Density Spectrum Array)の拡張
 - 解析周波数範囲 0~サンプリング周波数/2 200分割 帯域幅指定可能
 - 時間分解能 最高 サンプリング周波数 最低 サンプリング/1000
 - 色階調 16、64階調
 - 加算 DSA 可能 (試行 DSA の加算) ALL, G1~G4
 - 波形表示 可能 (試行、加算)
 - 範囲内平均周波数 DSA 表示内にライン表示
 - スペクトラム表示 可能 (Point, Area, Page で区間選択)
 - 表示位置モード 電極位置、STACK、SPLIT1~8
 - レポート印刷 可能
 - イメージ出力 各グラフィイメージのメタファイル形式でのクリップ・コピー
 - MAP 解析チャンネル数 最低 1 2 電極部位の DSAトレンドデータ
 - マップ表示モード 絶対値(Absolute)、相対値(Relative) 16 階調、64 階調切り替え
 - 動画マップ 可能 カーソルで開始点指定
- このソフトウェアは、基礎医学研究用途にご使用ください。

動作環境

パーソナルコンピュータ (PC/AT 互換機) Pentium II 500MHz 相当以上
メモリ Xp, Win2000 1GB 以上 Vista, Win7, 8 4GB 以上
ハードディスクの残り容量 20GB 以上 (DSA 結果をファイルに残すため)
表示解像度 1024×768 以上 (1280×1024 以上推奨)
動作OS WindowsXp, Windows2000, Windows7, Windows8 (すべて日本語環境)

開発元 (有) のるぶるライトシステムズ 問い合わせメール noru@fb3.so-net.ne.jp
〒185-0003 東京都国分寺市戸倉 2-11-25 TEL/FAX 042-304-1951 できるだけメールでお問い合わせください。